インテリアアワード2024優秀賞受賞作品

ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 名古屋
見学会のご案内

講師：竹中工務店　大阪本店　設計部　黒柳 亮様
又は　名古屋支店　設計部　柳澤 隆様

日時：2025年3月7日(金) 13:00～15:00
集合：ホテル1階エントランス前　12:45
（中日ビル1階 南側）

会費：JIPAK会員： 1,500円
会員外： 2,000円
募集人員：20名（JIPAK:10名、CIP:10名）
＊事前申込要・先着順
申込：以下、QRコード 又はURLより
お申込ください。

https://jipak.or.jp/events/5011.html

申込締切：2月28日(金)

主催： 日本インテリアプランナー協会 関西
大阪市中央区安土町1-7-13 トヤマビル本館9階
E-mail：info@jipak.or.jp Tel：06-6266-5735
HP：http://jipak.or.jp

共催：日本インテリアプランナー協会 中部

インテリアアワード2024優秀賞受賞作品

ロイヤルパークホテル アイコニック 名古屋
見学会のご案内

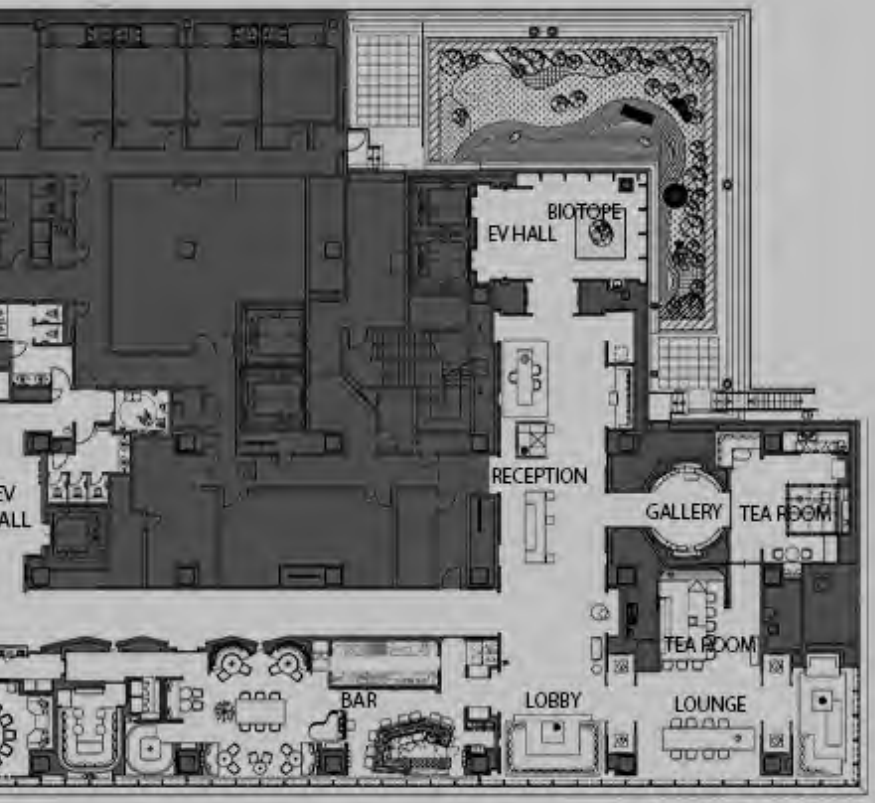
アクセス：地下鉄 東山線・名城線「栄」駅
から中日ビルまで 地下街 直結

集合場所：〒460−0008
名古屋市中区栄4-1-1
中日ビル1階　南側
ホテルエントランス前

見学日時：2025年3月7日(金) 13時～15時
＊開始時間の15分前(12：45) までに
ご集合お願いします。

連絡先　日本インテリアプランナー協会　関西
事業交流委員会　来海素存
Tel：080-9604-1507
又は
Tel：090-3923-2777　神谷 剛

JIPAK
Japan Interior Planner's Association,Kansai



24階ロビー・ラウンジ

スタンダードツイン
(27.9㎡)

DEEP CHUBU, DEEP JOURNEY.

旅する、チュウブ。

中部地方全域と繋がった体験が唯一無二のホテルをつくる。

中部を旅する、それは知らなかった「本当の日本」を知る旅。
戦国時代に生まれた中部のものづくりの国々は、その技術と文化が昇華され、時を超えて今もなお力強く存在する。その美しい片鱗を集めて「中部を旅するホテル」をつくった。いたるところに、土、木、紙、布、金属、ガラスなどの素材、壺や花器などが散りばめられている。これら目に留まるものから客室で使う器までは全て中部の作家、名工、職人たちによってつくられている。
本来は何も語らないこの「静物」たちが、ここではものがたりを奏でている。

LOBBY

24階ロビー・ラウンジは、日本的な「間の繋がり」を意識しながら回遊させ、より奥へと誘う。と同時に視線の先にはダイナミックなアートや素材を配置し、ポイントとなる様々な箇所でゲストへ中部のものがたりを届けるよう綿密に計算されつくしている。

GUEST ROOM

トイレとバス以外には間仕切を設けていない事で、同サイズの他ホテル客室と比較しても群を抜いて広く感じる。ミニバーと洗面が一体となったマルチカウンターなど、様々な工夫によって完成した。

岐阜高山
挾土秀平氏の左官アート壁

静岡
土の息吹を感じる
田宮亜紀氏の大壺

名古屋
SUZUSAN 杉板でつくられた横濱金平
有松絞りクッション

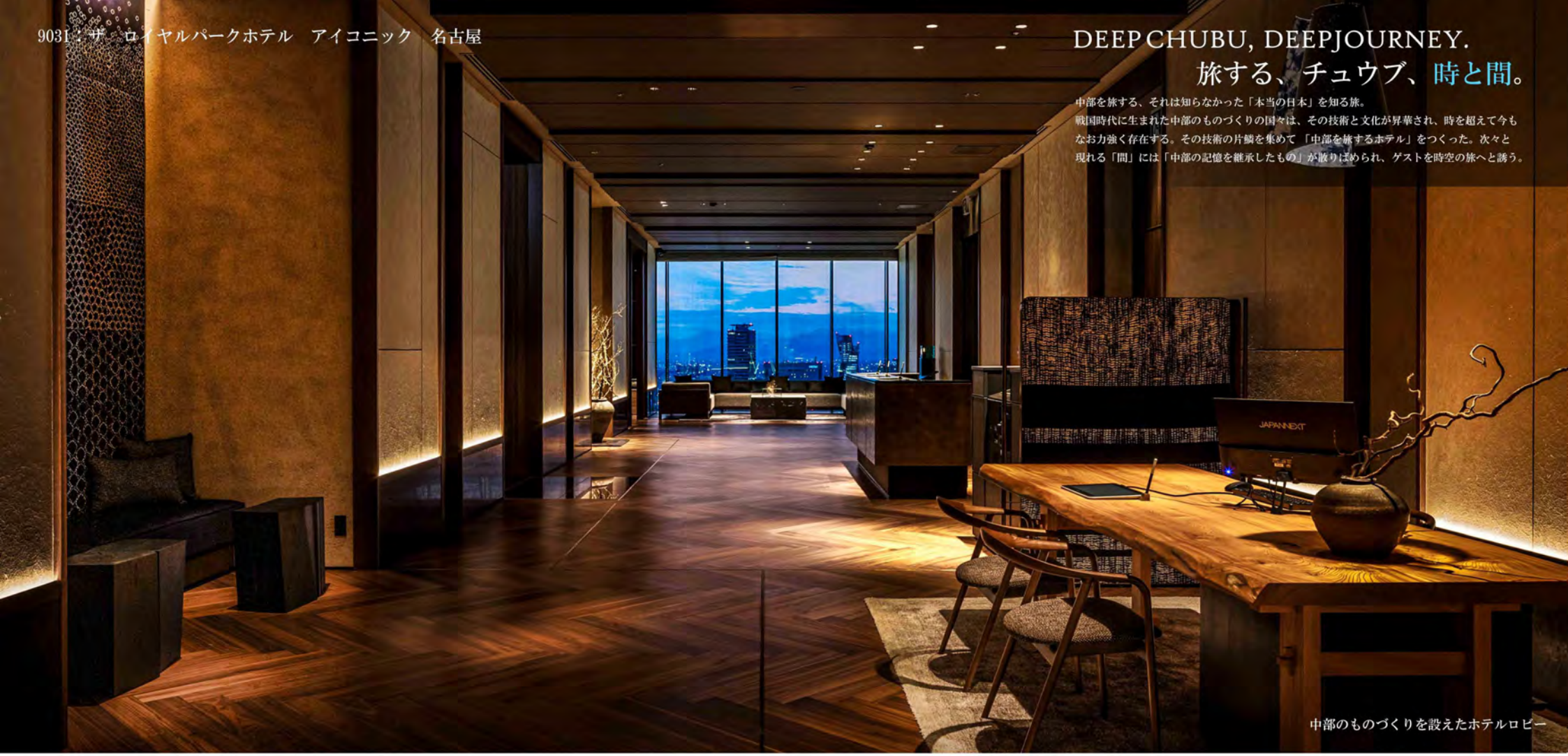
三重
氏のウッドスピーカー

岐阜美濃
千田崇統氏が漉く山並み
のような美濃和紙壁

愛知
中日ステンドアー
積層硝子サ

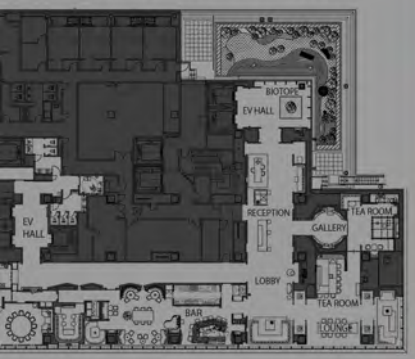
DEEP CHUBU, DEEP JOURNEY.
旅する、チュウブ、時と間。

中部を旅する、それは知らなかった「本当の日本」を知る旅。
戦国時代に生まれた中部のものづくりの国々は、その技術と文化が昇華され、時を超えて今もなお力強く存在する。その技術の片鱗を集めて「中部を旅するホテル」をつくった。次々と現れる「間」には「中部の記憶を継承したもの」が散りばめられ、ゲストを時空の旅へと誘う。



中部のものづくりを設えたホテルロビー

LOBBY
24階ロビー・ラウンジは日本的な「間の繋がり」を意識しながらより奥へと誘う。空間の切り替わりで、視線の先には中部のアートや素材を配置し、ポイントで自然と中部を感じられる空間づくりをしている。同時に円形ギャラリーをつくり中部のものづくりを紹介している。



三重尾鷲檜による茶室で愛知のお茶を楽しめる

GUEST ROOM
トイレとバス以外には一切間仕切を設けない事で、同面積の他ホテルと比較すると解放感を感じる。柔らかく仕切るアートスクリーン、ミニバーと洗面が一体となったマルチカウンター、大きな抽斗収納などにより寝るためだけではない「中部を体験するゲストルーム」が完成した。

スタンダードツイン
(29㎡)

安土城の水墨画、有松絞、美濃和紙がゲストを中部に誘い、中部の焼き物の器でお茶を楽しめる。五感で楽しむアイコニックなゲストルーム

岐阜高山・挾土秀平氏
三英傑(信長、秀吉、家康）の花押を表現した壁一面の左官アート

岐阜高山・挾土秀平氏
左官アート壁

飛騨山脈、長良川、伊勢湾へと続く中部の地形を模した中部の植生によるビオトープ

三重・横濱金平氏
杉板で作られたウッドスピーカー

名古屋・AICHI METAL
金属吹付塗装を施したミニバー

静岡・田宮亜紀氏
土の息吹を感じる大壺

三重
蒲野石を使用した客室テーブル

岐阜で集めた木材そのものが本棚のように壁を彩るオールデイダイニング

中部のものづくりと繋がる
ギャラリー

岐阜美濃・千田崇祐
手漉き和紙による山並みデザインは窓外の水平線と
合わせて古今の景色を繋げる